

令和6年10月23日(水)

令和6年度 第2回 学校運営協議会 別冊資料

1. 授業参観にあたって

- ① 黒板にスクリーンを写して、様々な資料を提示したり、デジタル教材等を用いた授業が、年々増えています。生徒にとって分かりやすい授業、 unnecessaryな部分は時間短縮された授業となることが目指されています。
- ② 今年度から、全校生徒がクロームブック（1人1台端末）を購入し、同一機種を各自で購入し持参しております。授業では、その端末を用いて調べもの学習をしたり、課題を先生から受け取ったり、その課題を提出したり、生徒同士が協働で考えをまとめたり、発表資料を作成したりするなどして、深い学びや探究活動を行っています。

現行の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業、学習活動の改善が求められています。本校においてもこれに基づいた授業改善・実践を行っています。

具体的には、

- ①「言語活動、観察・実験、問題の発見・解決」の質を向上させる
 - ②「振り返る場面」や「グループ活動」「考える場面」を教員が組み立て設定する
 - ③生徒が「見方・考え方」を自在に働かせる活動を行う
 - ④基礎的・基本的な知識技能の修得を図る
- などが挙げられます。

今年度から全ての学年で、学習評価は「知識・技能」「思考・判断・表現力」「主体性」の3観点での評価となります。

この中で、

「主体性」については、「主体的に学習に取り組む態度」の育成を目指し、「粘り強い取組の中で自ら学習を調整しようとする力」を見ています。

- ①学習の事前事後での考え方の変容
- ②自己理解の度合
- ③関心を広げたり、活用の工夫を試みたりできたかなどを生徒の活動での姿の変化や、自己記述、生徒相互の他者評価などから評価していきます。

※本日の授業参観の参考にしていただければと存じます。

2. 授業改善について本校の取組

①生徒による授業評価アンケート（1学期の結果については次ページ以降を参照）

毎学期、担当授業ごとにアンケートを実施し、教科会議で検討します。
項目については学校教育目標に基づき大枠を指示しています。

②「授業改善のための ICT 活用」研修

ア 6月21日（金）

園田学園女子大学の堀田博史教授を招き、授業への助言をいただいたり、「学校生活での ICT の取り組み方」というテーマで研修を行いました。

イ 9月20日（金）

園田学園女子大学の堀田博史教授及び神奈川県立上鶴間高校の柴田功校長を招き、授業への助言をいただいたり、「先進校の事例」というテーマで研修を行いました。

ウ 10月30日（水）

県総合教育センターから指導主事を招き、授業参観と検討会、放課後、全教員が参加して「授業改善のための ICT 活用」をテーマに研修を行います（予定）。

エ 11月22日（金）

本校の2名に教員が、ICT 活用の先進校への視察として、神奈川県立希望ヶ丘高校と神奈川県立上鶴間高校を訪問し、授業見学及び ICT 担当者との懇談を行います（予定）。

③公開授業・発表会の実施

ア 公開授業（11月5日（火））

各教科で、アクティブラーニング、ICT 活用について研究・工夫した授業を、県内中高の教員に公開し、教科ごとの授業検討会において意見をいただきます。

イ その他

- ・年1回以上の管理職への授業公開
- ・年3回以上の授業参観、または外部研修会への参加